	_										M工夫谷导	門子校 ンプバ		
課目名	1			ĮΠ										
課目名(英)	Р	ublic hea	alth 8	& hyg	iene manager	nent								
単位数		2単位	ά		時間数		60時間		担当者		竹原直道∙相良	₹献・白木光		
実施年度		2023年	度		実施時期	1	通年	担	当者実務	経験	大学院にて研究 歯科医師として訪問診療			
	j	 美容科 2	年				l				I			
授業概要	がた! 染さ! 充分	い局面に遭せる媒体とな	選す なる可 l識並	る。当 「能性 も びに消	然美容師自身が 想定される。この	利用者のような	るより予期せぬ感 な危険性が常にれ	染症に感染 存在する以	たする危険 上、美容師	こさらる には愿	と職務上、日常的に利用者とされる可能性とともに、自らな 弦染症ならび感染症の予防と 他の科目とリンクしながら必	が感染症を利用者へ :衛生管理に資する、		
授業形式	講	義: (Э	演	習: △	実	習:	実技:			※ 主たる方法:〇	その他:△		
	言語	知的 運動 技能	態度意欲	その他		l			目標	Ę				
	0				美容業に関連す	る感染	染症の知識を知っ	ったうえで、	その感染症	の危険	食性を指摘することができる	0		
学習目標	0				代表的な感染症	やその	の症状を知ったう	えで、その	感染症の感	染経	各や病原体を説明することか	ヾできる。		
(到達目標)	0				感染症予防の3	原則は	こついて、その対象	策を3つ以	上列挙し、記	兑明す	ることができる。			
		O 消毒薬の希釈について、机上計算とシュミレーションをすることが出来る。												
テキスト・教材 参考図書		日本埋隶	译谷 李	教育も	マンター版 衛	生管	7埋							
	回数				授業	項目	•内容				授業外学修	指示		
	1	感染症発	見の歴	を 、 愿	※染症と法律、感	染症の	の法律上の分類			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	2	病原体の	身体へ	への侵ん	入・媒介経路によ	る分類	類			教科	書の該当範囲を事前に読ん	でおくこと		
	3	病原体別(こよる	分類						教科	書の該当範囲を事前に読ん	でおくこと		
	4	微生物の種	種類、	微生物	かの形と大きさ、後	数生物	の構造、微生物の	の増殖と環	境の影響	教科	書の該当範囲を事前に読ん	でおくこと		
	5	微生物の	病原性	生と人体	本の感受性、 汚	染、感	禁及び発病			教科	書の該当範囲を事前に読ん	でおくこと		
	6	常在細菌	叢、免	.疫と予	·防接種、感染症	発症の	の要因			教科	書の該当範囲を事前に読ん	でおくこと		
	7	感染症予	坊の3	原則						教科	書の該当範囲を事前に読ん	でおくこと		
	8	感染症総調	論の紛	東習問題						教科	書の該当範囲を事前に読ん	 でおくこと		
	9	空気・飛沫	を介!	して感	 染する感染症。糸	核等				教科	書の該当範囲を事前に読ん	でおくこと		
	10	飲食物を介	かして	感染す	る感染症・血液	を介し	て感染する感染症				書の該当範囲を事前に読ん			
	H				て感染する感染		- 10.5147 - 0.10.5147	· 			書の該当範囲を事前に読ん			
	ا	具体的な対									書の該当範囲を事前に読ん			
	-	感染症に			 児語(1)						書全体に目を通しておくこと			
	14	感染症に									書全体に目を通しておくこと			
授業計画	H	感染症に									書全体に目を通しておくこと			
汉本印目	H				- 消滅(0) 	ころ注	の担定				書の該当範囲を事前に読ん			
	17	消毒を怠っ	た場				の <u></u>	消毒に必要	な条件・微		音の該当範囲を事前に就ん ――――――――――――――――――――――――――――――――――――			
	18	生物の抵抗 理学的消費								教科		 でおくこと		
	H			アルコ	ール・次亜塩素	タナト!	リウム・界面活性:	副						
	H				ン酸クロルヘキシ					教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	H				実施上の注意	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと								
	ا	消毒法総調								教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
		消毒法実			ख ‡薬・器具の使い	釈液の濃								
	-	度消毒薬希線	駅注				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	H	美容所の		金の			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと							
	F				5.33 西西									
	26	美容所に	らける	(朝生管	3 埋 要 領					教科	書の該当範囲を事前に読ん	くおくこと		

	27	27 消毒と自首管理体制・自主管理点検表 教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと												
	28	消毒法に関する練習問題(1)				教科書全体に目	を通しておくこと							
	29	消毒法に関する練習問題(2)				教科書全体に目	を通しておくこと							
	30	30 消毒法に関する練習問題(3) 教科書全体に目を通しておくこと												
	以上)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点で評価する。 な績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
			言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合						
評価方法		定期試験	0	0				80%						
一		小テスト		0				20%						
履修上の注意														

	,	/D /7± T								「『字校 ンフハル					
課目名	1	保健 I	1												
課目名(英)	h	ealth co		ology	/		_								
単位数		2単位	立		時間数	60時間	_	担当者 ————	齊田 川	順子 ————————————————————————————————————					
実施年度		2023年	度		実施時期	通年		担当者実務経験	看護師、研修講師	師として勤務					
対象学科・学年	身	€容科2年	Ę												
授業概要	ま て 前	た、個人 きるよう! 前期ではノ	の健 こ学習 (体の	康管: 習する)構造	理に生かされるよ 。	くうに学習する。美	容に	おいて何が健康を	なや皮膚の構造などの知識を害する可能性があるのかな を害する可能性があるのかな と触れる仕事でもあるためは	など、現場で応用					
授業形式	講	義: ()	演 ²	習: 5	実習:	実技	支:	※ 主たる方法:〇	その他:△					
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他				目標							
	0					人体の構造や機									
学習目標 (到達目標)	0								して質問に対して説明がで	きる。 					
(到是白塚/	0	0							た場合説明ができる。	h Z					
					和畝を加く日カ	日牙で心門依积	1003	く王や心身の健康	求(人忠) こ 印 思 し た 吉 到 か こ 4	I v る。					
テキスト・教材 参考図書	-	○ 知識を元に自分自身や施術依頼者の安全や心身の健康状態に配慮した言動がとれる。・保健教科書・配布プリント 【参考図書 ・ぜんぶわかる人体解剖図(成美堂出版)・からだの地図帳(講談社)】													
	回数				授業項	[目·内容			授業外学修	指示					
	1	はじめに	二 1糸	編1章	頭部の体表解	剖学		孝	数科書の該当範囲を予習						
	2	1編1章	顔剖	ß、頸·	部の体表解剖学			孝	枚科書の該当範囲を予習						
	3	1編2章	骨格	器系	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	構造		孝	教科書の該当範囲を予習						
	4	1編2章	骨格	器系	・・・・骨格器系と	そのはたらき		孝	牧科書の該当範囲を予習						
	5	1編3章	筋系		おもな骨格筋			孝	牧科書の該当範囲を予習						
	6	1編3章	筋系		表情筋			孝	牧科書の該当範囲を予習						
	7	1編4章	神経	系…	•中枢神経系			李	枚科書の該当範囲を予習						
	8	1編4章	神経	系・・	•末梢神経系			孝	枚科書の該当範囲を予習						
	9	1編5章	感覚	'器系	•••視覚 聴覚	平衡感覚 味覚	など	孝	数科書の該当範囲を予習						
	10	1編6章	血液	•循珠	景器系 ・・・血液	について		孝	教科書の該当範囲を予習						
	11	1編6章	血液	•循珠	環器系 ・・・血液	循環、リンパ管に	ついて	· **	教科書の該当範囲を予習						
	12	1編7章	呼吸	器系	・・・気道 肺 呼			孝	数科書の該当範囲を予習						
	13	1編8章	消化	器系	・・・消化管の仕糸	組み、はたらき		孝	教科書の該当範囲を予習						
	14	前期まと	めっ	テスト	対策			1	編人体のポイントを復習し	ておくこと					
授業計画	15	前期テス	ト解	答、解	說、復習			1	編人体のポイントを復習し	ておくこと					
	16	2編1章	皮原	青の楠	舞造・・・皮膚につ	いて 表皮・真皮	皮下	組織	数科書の該当範囲を予習						
	17	2編2章	皮膚	付属	器官の構造・・・	毛の構造・毛周期		孝	 数科書の該当範囲を予習						
	18	2編2章	皮膚	付属	器官の構造・・・原	指腺・汗腺・爪		李	 数科書の該当範囲を予習						
	19	2編3章	皮膚	の循	環系・神経系・・	・皮膚の血管・神	—— 経	李	 牧科書の該当範囲を予習						
	20	2編4章	皮膚	と皮	膚付属器官の生	理機能・・・保護・	調節化	F用	数科書の該当範囲を予習						
	21	2編5章	皮膚	の保	健・・・皮膚と全身		入れ		数科書の該当範囲を予習						
	22	2編6章	皮膚	の疾	患・・・皮膚の異常	ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニ			数科書の該当範囲を予習 対科書の該当範囲を予習						
					患・・・皮膚疾患。				数科書の該当範囲を予習						
		後期まと							編皮膚科学のポイントを復	 習しておくこと					
					 說、復習				編皮膚科学のポイントを復						
				//											

	26	前期後期まとめ				1編2編のボイ	′ントを復習して	こおく				
	27	国家試験に向けて				教科書やプリン	ノトを復習して	おくこと				
	28	国家試験に向けて			教科書やプリン	 ントを復習して	おくこと					
	29	国家試験に向けて		教科書やプリン	教科書やプリントを復習しておくこと							
	30	国家試験に向けて		教科書やプリントを復習しておくこと								
	以上	受業の中で小テストを2回実施する。 (2)定期試験(筆記)を実施する。 Lを下記の観点・割合で評価する。 責評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
	122,415	品面至十18、0(00m/SI			×=/ 0 (00///			,				
	750.115	(A)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
郭 儒士注	750,115	定期試験	1	I			1					
評価方法	720,415		言語情報	I		態度·意欲	1	評価割合				
評価方法	720,43	定期試験	言語情報	I		態度·意欲	1	評価割合 80%				
評価方法	750.45	定期試験	言語情報	I		態度·意欲	1	評価割合 80% 10%				
評価方法	750.45	定期試験	言語情報	I		態度·意欲	1	評価割合 80% 10%				
評価方法	75045	定期試験	言語情報	I		態度·意欲	1	評価割合 80% 10%				

課目名	3	美羽	字技	支付	· 行理	論Ⅱ									
課目名(英)	b	eaut	y th	neory	/										
単位数		3	3単位	ኒ		時間数		90時間		担当者		江藤 登志美・森 建太			
実施年度		20	23年	度		実施時期	1	通年		担当者実務網	圣験	美容室にて美容師として勤務			
対象学科·学年	j	美容利	착2 ^호	₹生											
授業概要	騸	美容師資格を取得し一人前の技術者になるため美容の基礎的な理論と技術を学ぶ事を目的とする。学年末に験に向けた指導と業界の求める美容師として理解しておかなければならない基礎知識を徹底して学習していくに向けた4択問題を中心に出題解答し試験にしっかりと慣れていく。 講義: 〇 演習: △ 実習: 実技: ※ 主たる方法:〇 その													
授業形式	講	義:	()	演	習: △		※ 主たる方法:○ その他:△							
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度意欲	その他		目標	Į							
	0	エステティックにおける皮膚の生理と構造を踏まえてフェイシャルケア技術、ホーディケア技術の説明ができる													
	0	爪の構造と機能、カット形状、公衆衛生を踏まえ、ネイル技術の種類を挙げてその説明ができる。 メイクアップのスキンケアからブラッシュオンメイクアップまでの手順を説明出来る。													
学習目標 (到達目標)	0														
(五)左口(赤/	0							⁄ョンの手順とミ ● 徴、道具につい							
	6											·る。 を説明出来る。			
	6]家試験対策問							
テキスト・教材 参考図書	Ť		里論	教科	·書•フ	プリント・ノート									
	回数	数 授業項目・内容 授業外学修指示													
	1		エステラ -ジ理		- I7	くテティック概論・皮」	青の生	上理と構造・カウン	セリンク゛	・美容における	予習				
	2	8章	エステラ	ティック	- フェ ディーマ		ェイシャ	ル及びデコルテマッサ	ージ・フ	フェイシャルパック・ボ	予習				
	3						ル技術	の種類・爪の構	造と機	後能・爪のカット形	予習				
	4				- 차 1	'ル技術と公衆衛	生・か	ウンセリング・ネイルケア	・アーテ	・イフィシャルネイル・手	予習				
	5	10章	クマッサ メイク	アッフ゜	- メ1 533°	/クアップ概論・顔 <i>0</i>)形態	学的な観察・メイ	クアッフ゜	と色彩・皮膚の		・復習・プリントの整理			
	6	10章	メイク	<u>=・メイ・</u> アッフ゜	- X	の道具 キンケア・ベースメイクフ	アッフ°・	アイメイクアップ・アイフ	゛ロウメイ	(クアップ°・リップ°メイク		・復習・プリントの整理			
	7	,,,,										・復習・プリントの整理			
	8	8章~	~10章	· 小·	テスト(D					予習	・復習・プリントの整理			
	9	1 :	日本 髪と訓		- 日2	本髪の由来・日本	髪の	各部の名称・日	本髪0	の種類と特徴・	予習	・復習・プリントの整理			
	10	11章	日本	髪	- 日z		本髪	の結髪道具・日	本髪0	の結髪技術・日	予習				
	11	12章		けけの			ナの目	目的・礼装・着物と	_季節	・着物のいろい	予習	・復習・プリントの整理			
	12	12章	着付	†けの)名称・着物のた 技術・帯締め、帯			予習	・復習・プリントの整理			
	13	12章	着作	tto	理論。	と技術 - 男子	L装羽	羽織、袴着付け技 の注意事項・和	術·羽	織のひもの結	予習	・復習・プリントの整理			
	14				テスト		0) (0)	V/工心于决 们。	22,167%	7 7 32 16 73	予習	- 復習・プリントの整理			
	15	2章	- シ	ャンフ	プーイン	ングの目的と種類	頂と特	徴・選び方のポ <i>-</i>	イントを	<u></u> 生知る	予習	・復習・プリントの整理			
	16		- ス ントを:		レプト!	ノートメントの目的	勺・ス:	キャルプトリートス	レトの)種類と特徴の	予習	・復習・プリントの整理			
	17				ブラシ	・・シザーズの名	称∙選	定法・手入れ法	·種類	 [予習	・復習・プリントの整理			
	18	l . '				ロン・ドライヤー・ 法・目的を知る	スチ-	ーマー・遠赤外線	機・そ	の他の道具の	予習	・復習・プリントの整理			
	19						ートメ	ントの違い、役割	、成分	}選び方	予習	・復習・プリントの整理			
	20	序章	·1章·	·2章	国家	試験過去問題演	習				予習	・復習・プリントの整理			
	21	1 . 1				カット技法・ワンレ ・グスカットのポィ		スカット・グラデー を知る	ーション	ノカット・レイ	予習				

松米計画	22 4章 - ヘアカッティングとは シ しい姿勢のポイントを知る	ザーズとレザー	ツティングの正	E 予習・復習・プリントの整理						
授業計画 	23 4章 - シザーズ・レザーによる:	カット技法のポイ	ントを知る		予習・復習・プリ	ントの整理				
	24 4章 国家試験過去問題演習				予習・復習・プリ	ントの整理				
	25 5章 - パーマネントウェービング 実際のポイントを知る	ブの歴史と現在	パーマネントウェ	ェーブの理論と	予習・復習・プリ	ントの整理				
	26 5章 - パーマネントウェーブ用意事項 のポイントを知る	剤の種類・パーマ	マネントウェーブ月	用剤に関する注	予習・復習・プリ	ントの整理				
	27 5章 - パーマネントウェーブの	実際・パーマネン		パイントを知る	予習・復習・プリ	ントの整理				
	28 5章 国家試験過去問題演習				予習・復習・プリントの整理					
	29 6章 - ヘアセッティングとは・ヘ る	アパーティング・	ヘアカーリング・	のポイントを知	予習・復習・プリ	ントの整理				
	30 6章 - ループとウェーブの関係	・カールの種類			予習・復習・プリ	ントの整理				
	31 6章 - ヘアセッティング(ローラ ンセッティング、アップスタイル)(コーミング、ブロ	ードライ、アイロ	予習・復習・プリ	ントの整理				
	32 6章 国家試験過去問題演習	2-11-12-1 (274-0)			予習・復習・プリ	ントの整理				
	33 7章 - ヘアカラーリング概論・ヘ	トアカラーの種類	のポイントを知る	5	予習・復習・プリ	ントの整理				
	34 7章 - 毛髪のアンダートーン~	ヘアカラーリンク	ずの注意事項のオ	ポイントを知る	予習・復習・プリ	ントの整理				
	35 7章 国家試験過去問題演習			予習・復習・プリ	ントの整理					
	36 3章 ヘアデザイン 問題演習			予習・復習・プリ	ントの整理					
	37 8章・9章 国家試験過去問題演	習		予習・復習・プリントの整理						
	38 10章 国家試験過去問題演習				予習・復習・プリントの整理					
	39 11章・12章 国家試験過去問題	演習			予習・復習・プリントの整理					
	40 国家試験に備えて復習(対策問	題演習·過去問題	題演習)		予習・復習・プリントの整理					
	41 国家試験に備えて復習(対策問	題演習·過去問題	題演習)		予習・復習・プリントの整理					
	42 国家試験に備えて復習(対策問	題演習•過去問題	題演習)		予習・復習・プリントの整理					
	43 国家試験に備えて復習(対策問	題演習・過去問題	題演習)		予習・復習・プリントの整理					
	44 国家試験に備えて復習(対策問	題演習・過去問題	題演習)		予習・復習・プリ	ントの整理				
	45 国家試験に備えて復習(対策問	題演習・過去問題	題演習)		予習・復習・プリ	ントの整理				
	(1)授業の中で小テストを●回実施中の発表・居眠り・私語などで評価以上を下記の観点・割合で評価す成績評価基準は、S(90点以上)・	曲する。 ⁻る。					4)授業態度は授業			
		言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
評価方法	定期試験	0	0				75%			
	小テスト	0	0		8		10%			
	提出物 授業態度				© ©		10% 5%			
	1又未必及						3/0			
履修上の注意	毎講義においてプリントを配布するため、それらを保管できるファイル(フラットファイル形式が理想)を購入し必ずプリントの整理を行っておくこと。									

課目名 美容実習 Ⅱ 担日名(英) Beauty Training 単位数 16 時間数 480時間 担当者 江藤 登志美・和 実施年度 2023年度 実施時期 通年 担当者実務経験 美容室にて美容師	 森 建太				
単位数 16 時間数 480時間 担当者 江藤 登志美・利 実施年度 2023年度 実施時期 通年 担当者実務経験 美容室にて美容師	森 建太				
実施年度 2023年度 実施時期 通年 担当者実務経験 美容室にて美容師	森 建太				
	iとして勤務				
東学科・学年 美容科2年次					
受業概要 国家試験合格に向けて課題である美容技術の基礎(ワインディング・オールウェーブ・カット)を身に付ける。 衛生面でも国家試験評価対象となっている為、衛生面も同時に身に付ける。	>				
受業形式 講義: △ 演習: △ 実習: ○ 実技: △ ※ 主たる方法:○	その他:△				
言語 知的 連動 態度 老の他 目標					
国家試験第一課題(レイヤーカット)を身に付ける事ができる。					
学習目標 国家試験第二課題(オールウェーブ/ワインディング)を身に付ける事ができる。					
到達目標) 頭の形を理解し正確に形として仕上げる事ができる。	-				
道具の使用の仕方、ウィッグの使い方を丁寧に行い衛生面を綺麗に保つことができ	 ·る。				
美容師国家試験合格に向けて意欲を高く持ち、継続的に練習する事ができる。					
キスト・教材 ★☆中羽送見 →					
参考図書 美容実習道具一式					
_{回数} 授業項目·内容 授業外学修指	 示				
国家試験第2課題オールウェーブ 民族は練習を行う					
1~2 (コームの使い方・ローション塗布の仕方) ウィッグを持ち帰り復習する 居残り練習を行う 居残り練習を行う					
3~7 国系試験第2課題オールリエーノ /技倆放理解 ウィッグを持ち帰り復習する					
8~9 国家試験第2課題ワインディング 20分巻き 居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する					
10~ 16 国家試験第2課題オールウェーブ 7段構成理解 居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する					
17~ 国家試験第9課題ロイルデスが、20公券キ 居残り練習を行う					
20					
フィックを持ち帰り復省する					
27 国系試験第2課題ソインティング 20分巻さ ウィッグを持ち帰り復習する					
28~ 30国家試験第2課題オールウェーブ 7段構成理解居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する					
国家試験第2課題ワインディング 20分巻き 居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する					
32~ 40 国家試験第2課題オールウェーブ 7段構成理解 居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する					
40~ 国家試験第9課題ロインディング 20分巻き 居残り練習を行う					
44 「ロイックを持ち帰り復省する					
52					
53 国系試験第2課題ソインディング 20分巻さ ウィッグを持ち帰り復習する					
59 国家試験第2課題オールワエーノ 60分 ウィッグを持ち帰り復習する					
60 国家試験第2課題ワインディング 20分巻き 居残り練習を行う ウィッグを持ち帰り復習する					
61~ 66 国家試験第2課題オールウェーブ 50分 居残り練習を行う ウイッグを持ち帰り復習する					
日家試験第9課題ロインディング 20分巻き 居残り練習を行う					
88~ 国家試験第2課題オールウェーブ 50分 居残り練習を行う					
174 17					
73 フートビューティーコレクション進備 タ白理照とたっている物を持ち帰り	 り準備に取り組む:				
111					
113 国家試験第2課題オールウェーブ 40分 習を行う					
115 国家試験第2話題ワインディング・オール・フェーノ テスト 習を行う	帚り試験タイ んで復				
117 国 (国 () 国 () 国 () 国 () 国 () 国 () 国 () 日 (
118~ 122国家試験第2課題オールウェーブ 40分居残り練習か各自ウィッグを持ち州 習を行う					
123~ 124国家試験第2課題ワインディング 20分巻き居残り練習か各自ウィッグを持ち帳 習を行う	帚り試験タイムで復 				

					•••						
	125~ 国家試験第2課題オールウコ	ニーブ 30分			居残り練習か各1 習を行う	自ウィッグを持ち	帰り試験タイムで復				
	130~ 国家試験第1課題レイヤーカ	リット				自ウィッグを持ち	帰り試験タイムで復				
	135~ 国家試験第2課題ワインディ	ング 20分巻 a	<u> </u>			自ウィッグを持ち	帰り試験タイムで復				
	137~ 国家試験第1課題レイヤーカ	リット			居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復						
	142~	ニーブ 30分		習を行う 居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復							
	144~ 国家試驗第2課題十一川內		習を行う 居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復								
	147~ 国家試験第2課題ワインディ		習を行う 居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイム:								
	148 国家試験第2課題プリンティ			習を行う 居残り練習か各1	自ウィッグを持ち	帰り試験タイムで復					
	151			習を行う 居残り練習か各!	自ウィッグを持ち	帰り試験タイムで復					
	225 国系試験課題練首(207~2			習を行う							
	^{226~} 国家試験課題第1·第2 実技	をテスト 20分 国	· 準 ————————————————————————————————————	口 t 1 (t 7 7 1 . 友 /	<u> </u>						
	229~ 国家試験課題練習				居残り練習か各自ウィッグを持ち帰り試験タイムで復 習を行う						
	前期・後期末試験実施(実技) 課題に対しての理解度。 授業態度の評価。 成績評価基準⇒S(90点以上)		_)•B(70点以	.上)•C(60点	以上)・D(59点	i以下)					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
	定期試験			0	0		70%				
評価方法	小テスト			0	0		20%				
	宿題・レポート				0		10%				
履修上の注意											

課目名	ヘアテクニック 【カットⅡ】														
課目名(英)	Hair Techniqu	ue (Cut)													
単位数	1単位	時間数	30時間中20時間	担当者		江藤登志美・	森健太								
実施年度	2023年度	実施時期	通年	担当者実務経験	#ロンに美容師として勤務										
対象学科・学年	美容科 2年	•													
授業概要	国家試験合格	各に向けて課題である美	ミ容技術の基礎(レ	·イヤーカット)を:	身に付ける	lo.									
授業形式	講義:	演習: 実習	習: 〇 実持	支:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△								
学習目標 (到達目標)	言語 知的 運動 態度 技能 意欲		る事ができる。		保つことができ	కి రెం									
テキスト・教材 参考図書	実習道具 か	実習道具 カット道具一式													
授業計画	1~2 (コームの使し 国家試験第2 (ブロッキング 5~6 (ブロッキング 「ブロッキング 「ブロッキング でする対象第3 (ブロッキング でする対象第4 (切りり手順・ 国家試験第5	授業項目・ 課題へアカッティング い方・ブロッキングの仕方) 課題へアカッティング 「かりり方手順) 「課題へアカッティング 「の仕方・切り方手順・反復 「課題へアカッティング ・反復練習・スタイルの確認・ ・反復練習・スタイルの確認・ ・反復練習・スタイルの確認・	夏練習) 忍)	居 居 居	残り 反復網残り 反復網残り 反復網残り 反復網残り 反復網残り 反復網	· 智 · 智	旨示								
評価方法	(1) 小テストを2 (2) 課題に対して (3) 授業態度の 成績評価基準⇒ 小テス 宿題・レス	ての理解度。 評価。 ⇒S(90点以上)・A(80点 言語情 スト ポート		1	上)·D(59点 態度·意欲 ◎ ○	(以下) その他	評価割合 60% 30% 10%								
履修上の注意	授業開始前に	 ニ準備を整えておく。													

課目名	美容教養【美容業界研究】													
課目名(英)	В	eauty ir	ndust	try 1	the study	,								
単位数		2単位	立		時間	引数	60₽	寺間中30時	詩間	担当者	Щ	口薫・江藤登	志美・森健太	
実施年度		2023年	度		実施	時期		通年		担当者実務網	経験 美容	室にて美容	師として勤務	
対象学科・学年	身	€容科2年	F											
授業概要	走	己承転結	きただ	ま用し	した履歴	書作成	を行	ない早期	明内		。就職内定	を目指すため Lを目指す。)のコミュニ -	
授業形式	講	義: (C	演	たる方法:〇	その他:△								
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他		l	<u> </u>							
	0				ングが出来る	00								
学習目標	0	_									事が出来る。			
(到達目標)		起承転結を活用した履歴書作成が出来る。												
			〇 就職内定を目指す。 〇 国家資格技術合格レベルを目指す。											
		0									することができ	<u></u> きス		
テキスト・教材	Т	ONI&GU	IV D	VD		A DVD			1000.0		9 DCC77 C	<u>- 0</u> ,		
参考図書	ľ	o mado		,,	O/ (1 t/			対策プリン	ハ					
	回数				扬	受業項目	•内容	空				授業外学修	指示	
	1	± 15 mats 2 — ± 2		<i>-</i>	- / >>	0.TH=T	/m	7 1 == 1 to to to to	A 1000					
	2	就職に向い												
	3	TONI&GUYについて企業リサーチ 教育提携校TONI&GUYについて												
	4	教育提	隽校	TON:	l&GUYIC	ついて	受験に対する心	構え、斡旋規定	 を再確認					
	5	履歴書記 明	說明	受馬	領甲込 書	・証明証	関係	• 受験報	告書	の活用と説	受験に対する意	意思表示。必要書	類、証明写真の手配	
	6	.71	のよう	なC) () になる	か 文章	章に走	記こし共有	Ī		将来をイメージ	し、身近なものと	認識しておく	
松华江南	7	履歴書	作成	構用	戉						自分を売り込む	為の言い回しを	文に起こす	
授業計画	8	履歴書	作成	下氰	書き						伝えたい部分を	明確にし分を組み	み立てていく	
	9	履歴書	作成	添肖	削・清書						起承転結を考え 受	と訂正していく 験に対しての準値	#を行なう	
	10	夏季休暇	前事前	前学習	長期	休暇前の記	渚注意	等						
	11	国家試験	願書	書き										
	12	国家試験	筆記対	対策	模擬試験									
	13	国家試験学習を行	筆記	事前:	学習 対策	プリントを依	吏用し1	解答•解説	を中心	いに苦手科目の				
	14	国家試験学習を行か	<u>まり</u> 筆記	事前:	学習 対策	プリントを依	吏用し1	解答•解説	を中心	に苦手科目の				
	4.5	字音を行う 国家試験 学習を行う	筆記	事前:	学習 対策	プリントを依	使用した	解答∙解説る	を中心	いに苦手科目の				
	(1)招 (2)宿	受業後の 宮題として	レポ· C感な	文	是出を行 レポート リ定とする	を提出を	:課す	⁻ 場合があ	5る。	以上を下記の	の観点・割合	で単位認定を	する。	
評価方法		言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合											評価割合	
		宿題	・レオ	ポート		0							50%	
		発	表∙作	F品							0		50%	
履修上の注意	牛	持段の事	情を	除い	て、授業	は休まな	いで	ください。	授第	業中の私語は 	、厳禁です。	復習は必須で	ごす。 	

課目名	デザイン	ノ(ファッシ	ンョン)											
課目名(英)	Coordinate o	of Fashion												
単位数	2単位	時	間数	60時間中15	時間	担当者		岡田 絵	梨奈					
実施年度	2023年度	実 が	施時期	前期		担当者実務網	圣験 香蘭女	子短期大学ファッ	_{パション総合学科長}					
対象学科•学年	美容科2年次													
授業概要	など、多方面		ーチによる						ンドや演出方法 日できる総合的な					
授業形態	講義: 〇	演習:	実習	₽. =:	実	技:	※ 主た	-る形態:○	その他:△					
	言語 知的 運動 態度情報 技能 技能 意名													
	0 0	トレンド	を常に把掛	屋し、実践に	取り	入れられる								
学習目標	0	ヘア、メ	「イク、ファ	ッションを総 [・]	合的	こ捉え、創造	できるようにた	ふる						
(到達目標)	0													
	0 0													
	0													
テキスト・教材 参考図書	参考資料は配	○ 職場の具体的なディスプレイにも関心を持ち、自らディスプレイ演出が出来るようになる ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・												
	回数	;	授業項目•	内容				授業外学修持	旨示					
	1 イメージコー	ーディネート Ι	イメージ	の表現につい	ハて		課題プリントの乳	美施						
	2 イメージコー	ーディネート I	イメージ	別のデザイン	ノと構	成①	課題プリントの乳	 実施						
	3 イメージコー	ーーディネートⅢ	イメージ	成②	課題プリントの実施									
	4 イメージコー	 ーディネートⅣ	コーディ	コーディネートを	横成する 発表									
							ファッショントレン	ノドリサーチ						
		ディスプレイ						ー・・・・ サーチ(課題)と	——————————— 発表準備					
	7 ファッション	 /ショーの分析					ショーや動画を	 ノサーチし、まと&	かる					
授業計画	8 企画書の制						企画書の発表							
	9	-311					<u> </u>							
	-													
	10													
	11													
	12													
	13													
	14													
	15													
評価方法		= h mA	言語情	報 知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合					
	定期													
	小テ													
	宿題・レ		0	0			0		50%					
	発表・	作品	0	0			0		50%					
履修上の注意														

課目名	, and a	美容	字教	養	【デッサ	ンⅡ)							
課目名(英)													
単位数		2 <u>i</u>	単位		時間数	!	60時間中 15時間	担当者	•	森山森	鳥		
実施年度		2	.023		実施時期	y	前期	担当者実務	経験	美術専門講	講師3年		
対象学科•学年	身	美容 科	42年										
授業概要	する。こ	る。また。 。 の授業を	人体の骨を通じてもの	各や比率	を理解し、顔、頭部 する目を養い、立体	、全身を陰影を	つけて立体的に描	く。デッサンで身につい	いた調子のつけ方はも かすことで、目で見て	色彩感覚を磨き、美意	色彩、陰影で立体感を表現 識を高めることにもつなが ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
授業形態	講	義:	0	演 [:]	習:	実習:	美	!技: △	※ 主た	-る形態:○	その他:△		
	言語 情報		運動 態度 技能 意欲	その他		Ę.							
			0		形体の構造								
学習目標		の 角度と奥行きの把握、空間の意識ができる TRANS											
(到達目標)		の 顔と頭部の比率、骨格による陰影を表現できる											
		○ 画材によるグレイスケールの表現で色彩の明度感覚を描写できる ○ 人体の骨格や動きを把握し、線や面で表現できる											
			0		人体の骨格	や動きを	・把握し、線	や面で表現で	ごきる				
テキスト・教材 参考図書	业	必要に	こ応じて	CA4F	□刷物、A4画	用紙を	記付。 デッサ	ン道具一式。					
	回数				授業	項目•内	容			授業外学修			
	1	静物·	デッサン	ノ(立)	方体)				演習する配付なに仕上げる。	物、制作する作品	品を丁寧に期日まで		
	2	静物·	デッサン	ノ(円木	主)		物、制作する作品	品を丁寧に期日まで					
	3	静物·	デッサン	ノ(球体	本、自然物) 本、自然物)	演習する配付	物、制作する作品	品を丁寧に期日まで					
			デッサン							物、制作する作品	品を丁寧に期日まで		
	5					頭部(石膏	雪像があれば ^ん			物、制作する作品	品を丁寧に期日まで		
	6	人物·	デッサン	ノ、クロ	コッキー 顔、	頭部(石膏	膏像があれば ^ん	使用)	に仕上げる。 演習する配付物 に仕上げる。	物、制作する作品	品を丁寧に期日まで		
1 or 414 = 1	7	人物·	デッサン	ハクロ	コッキー 全身	(立ちポー	-ズ)			物、制作する作品	品を丁寧に期日まで		
授業計画	8	人物·	デッサン	ノ、クロ		(座りポー	-ズ)			物、制作する作品	品を丁寧に期日まで		
	9								TCH117-00				
	10												
	11												
	12												
	13												
	14												
	15												
評価方法	して	は、1	作品の	完成	度・観察力・	技量•集	中力·思考	りによって評価		の観点・割台	態度・意欲に 関合で評価する。 る。		
計巡刀法					1	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
			課題技	是出				0	0		100%		
履修上の注意		提出物(毎回〆切)+無遅刻無欠席											

課目名	j	選打	沢^	ヽァ	フデ	゚ザ゚	イナ-] —	ス	[mod	d's h	air カッ	ト&ノ	ドレイ	(ヤ-	−ジ <i>=</i>	ュセミ	ナー	-]	
課目名(英)																					
単位数		۷	1単位	立		В	寺間数		1	20時間	5		担当者	-		;	昜山	成之	(他	1名)	
実施年度		20	23 [±]	F度		実	施時期	朔		前期		担当	省実務	経験		mod	's hai	r aca	demy	Direc	tor
対象学科・学年	2	年生	選扎	尺授	業へ	アデサ	デイナ-	-⊐-	ース					'							
授業概要	拿	長です	ナ。フ [.]	ラン	ス、バ	リ発神	(のオリ	ジナ	ルフレ	ンチカ	ットとり	ベレイ	こ役立つ 'ヤージ <i>:</i> !門アカラ	1、計算	算され	て作	られた	:本物	のナ	チュラ	
授業形態	講	義:	Z	7	演	習:	Δ	実 [:]	習:	0	実	技:	Δ		Ж Ξ	主たる	る形態	態: 〇	そ	の他	: Δ
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他			1					目標	票							
	0					オリシ	ジナル ス	スタイ	イルの	デザイ	イン、ヨ	理論	、テクニ	ック月	目語の	の知言	哉を往	导る事	がて	゙きま	す。
学習目標		0				カット	の為に	必要	更なブ	ロッキ	ング、	、展開	開図の作	作成を	学ぶ	事か	バでき	ます	0		
(到達目標)			0			柔らた	かな質	感を	作る為	もに必	要なる	カット	技術を	お伝え	えいた	こしま	きす。				
			0								•		Jジナル					伝え	いた	します	0
				0		ヘア	デザイ	ンをi	通じて	美容(の楽し	ささ	哲学を	お伝え	えいた	こしま	ドす 。				
テキスト・教材 参考図書	J	カットに必要な展開図作成用のシートをお持ちします。																			
	回数																				
	1	1~:	3コマ	:レ	イヤー	-スタイ	ル ア	ナトラ	イン設	定の流	央め方	を学	<u> </u>	今ま	で勉強	した	事は一		_	っ白なタ	犬態にし
	2	4~(6コマ	:レ	イヤー	-スタイ	ル復習	1 2						前回に	の復習	引にな	るので				ハて下さ
	3	7~9	9コマ	:レ	イヤー	-スタイ	ル復習	1 3						前回	の復習	引にな	るので	工程を	·確認	しておし	ハて下さ
	4	10~ ぶ	-12⊐	ा⊽∶[ノイヤ	ノースタ	マイル・	デザ	インカラ	5 — /	バレイン	ヤーシ	シュを学	1 2	で信	吏用し	たウィ	ックを	用意し	て下さ	い。
	5		-15⊐	マ:7	ドブス	スタイル	· 柔ら	かなタ	質感の	グラデ	ーショ	ンを!	学ぶ	① 7	:使用	したけ	フィック	を用意	してて	っさい。	
	6	16~	-18⊐	マ:7	ドブス	ベタイル	/ 復習	l						Ī	程を	確認し	イックを	さい。			
	7	19~	-21⊐	マ:7	ドブス	スタイル	/ 復習	ı						3°1	吏用し	たウィ	ィックを	用意し	て下る	さい。	
	8	22~	-24⊐	マ:7	ドブス	スタイル	<i>、</i> デザ	インカ	カラー	バレイ	イヤー	ジュを	学ぶ	1 2	② で値	吏用し	たウィ	ックを	用意し	て下さ	い。
	9	1	・27コ ·学ぶ		ンユー	-トスタ	イル さ	女性が	から男性	生へ同	じスタ	イル(のアレン	1) 7	で使用	したけ	フィック	を用意	してて	っさい。	
授業計画	10				ンョー	トスタ	イル 復	習						②で	使用し	たウ	イックを	を用意	して下	さい。	
	11	31~	-33⊐	マ: :	ンョー	トスター	イル 復	習						3で1	吏用し	たウィ	ィックを	用意し	て下る	さい。	
	12	34~ を学	-36⊐	₹:	ンョー	トスター	イル テ	゙゙ザイ	ンカラ	ーバ	レイヤ	/ ージ	ュ 応用	3 4	で使	用し	たウィ	ックを月	用意し	て下さい	,۱۰
	13	37~	-39⊐	マ:l	ノイヤ	7一 ポ	デブ ショ	∃ —ト	3スタ	マイル役	夏習を	兼ね	た実習	各ス	タイル・	の工種	呈を確	認して	おいて	下さい	١,
		40~	-42⊐	マ・オ	命定分	付策									タイル・	の工種	星をイス	メージ	出来る	ようにし	して下さ
			-45⊐												タイル・	のエネ	星をイス	メージ	出来る	ようにし	して下さ
	16				式験詞	果題対	策合	まで賞	学んだ	スタイノ	レの中	から	課題を	い。							
	17		₹ <u> </u>		金定 記	式験															
	18	52~	-54⊐	マ: -	ディプ	ロマ討	験 ⑥														流れを
	19	55~	-57 ⊐	マ: ;	メンズ		1)							高平1四(ハたし	まり 。	百恰1	白ーは	ティノ	⊔ ₹ ₹	授与しま
						こかい こうしょう															
					1		<i>•</i>														
	記の	り観り	点•害	引合	から	総合的		価さ	せて頂	きます			状況(写 子価基準								

評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合
計仙力法	検定試験		0	0			60%
	授業での仕上がり		0	0			20%
	授業態度				0		20%
履修上の注意	デモンストレーション講習 検定試験は受けられません		ーーー ¦席率、スタイ	ルを作る上	で一定の理解	 解度が確認で	きない場合は

課目名	j	選扎	<u>ー</u> 尺~	ーア	<u>,</u> ,メ.	 イクアップ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	 'ーティス	<u>一</u>	コース	TA	YA]				
課目名(英)				-		st course 【TAY										
単位数			I単位	-		時間数		120時間中 110時間		担当者			鈴木	優	—— 希	
実施年度		20:	23年	- 度		実施時期		前期		担当者実務網	圣験	美容	学室にて美	容師	として	勤務
対象学科・学年		 美容科	 斗 2	年次												
授業概要						ーティストに必! を定期的に実力									の	
授業形態	講	義:			演	習:	実習	習: 0	実	技:		※ 主た	る形態:()	その他	也: △
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他		_		_	目標						
	 		0	<u></u>	<u> </u>	フィンガーウェー						する				
学習目標 (到達目標)	\vdash	$\vdash \vdash$	0	-	 -	エクステを使用! デザインメイク0			デサイ	インを皆得する)					
(F) (E // /	\square	\vdash	0			コンテスト作品を			<u></u>	デザイン』、て形	シーでき					
	-	\vdash		0		/ · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			3	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		. •	 5振る舞い	 を学	ぶ	
テキスト・教材	<u>'</u>															
参考図書		* * * * * * * * * * * * * * * * * * *														
	回数	数 授業項目・内容 授業外学修指示 1~2コマ: フォトコンテスト概要説明・第一回撮影に向けた企画書作成 様々なフォト作品をお見ておく事														
																た ておくこと
	2	ジしナ	たへて	アメイ	(ク撮	影										
	3	5~6 メー:	コマ ジし <i>†</i>	: 一芽 : ヘ ア	₹をベ マメイ	・一スとしたアレン ク撮影	ノジ・	・サロンセレモニ	_ 	スタイルをイ	ヘアア	イロン等へ	アアレンジ	直具0	う準備を	をしておくこと
						、編み込みを使り ヘアメイク撮影	用し	たヘアスタイル	,.⊐L							をしておくこと
	5	9 ~ 1	0⊐⊽	て:フィ	ィンガ	「一ウェーブを使り	用し	た面構成のア	ップラ	テクニック						こったい
	6	11~	13⊐	マ:指	最影準	準備・撮影に向け	たう	デザインの作り	こみ				ゲインの準備			. –
						Tち合わせ・デザ							ゲインの準値		めてお	くこと
		17~ チー.		マ: イケ	F品播	最影(Aチーム)	: 7 	デザインウィック 	ブ作 厄	艾小テスト(B	ウィック	ブ作成に必		準備し	しておく	こと(Bチーム)
梅秦 計画	ıuı	20~ チー.		マ:11	F品揖	最影(Bチーム)	: 7 	デザインウィック 	ブ作月	戊小テスト(A	ウィック	ブ作成に必		·準備l	しておく	こと(Aチーム)
授業計画	10	23~	25⊐	マ:第	第二回	回撮影に向けた金	企画	書作成					をお見てお			
	11	26~	28⊐	マ:エ	ニクス	テを使用したクリ	ノエ ~	イティブスタイル 	ν <u> </u>		道具を	準備してお	らくこと		'アレン	ジに必要な
	12	29~	31⊐	マ:ク	リエ・	イティブデザイン	, メイ	<u>ク</u>					しておくこと		<u> </u>	· * * * * * * * * * * * * * * * * * * *
						テを使用したクリ	•			19	道具を	準備してお	らくこと			ジに必要な
	14	35~ 影	37⊐	マ:フ	゠゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	インメイクを施した	<u>-</u> クリ	Jエイティフスタ 	イル	ヘアメイク撮	ح					
	15	38~	40⊐	マ:指	最影準	≛備・撮影に向け	たう	 デザインの作り	こみ				ゲインの準備			
						Tち合わせ・デザ							ゲインの準値		めてお	くこと
		44~ チー.		_ マ: 作	F品揖	最影(Aチーム)	· ^	 ヽアメイク作品:	企画·		様々な	フォト作品	をお見てお	く 事(E	— 3チーム)	
		47~ チー.		マ: 作	F品揖	最影(Bチーム)	: ^	ヘアメイク作品:	企画・	・テスト準備(A			らくこと(Bチー をお見てお		4 ታ– ሬ)	
	19	50 ~	52⊐	マ:^	ヘアメ	イク作品実技テス	スト	(Bチーム)					帯しておくこ			
	20	53~	55⊐	マ:^	ヽアメ	イク作品実技テス	スト	(Aチーム)			必要な	:道具を準値	帯しておくこ	ح		
	_ (1)1	- E画書	- 小子 小子	成を	数回	実施 ②作品价	作成	₹・撮影を数回	実別	—— も ③小テスト	ー 〜を1回	回実施 ②	実技テス	ストを	 :実施	

		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
評価方法	定期試験			0	0		40%
	小テスト			0	0		20%
	宿題・レポート				0		10%
	発表•作品			0	0		30%
履修上の注意							

課目名	選択 ヘアメイクアップアーティストコース 【アイリスト】 eyelash extensions														
課目名(英)	еу	elash e	xten	sions	1										
単位数		4単作	立		時間数	!		20時間中 10時間		担当者		江藤 登	志美		
実施年度		2023年	₣度		実施時期	IJ		前期		担当者実務網	圣験	美容師として	で勤務		
対象学科•学年	美	容科2年	ŧ								·				
授業概要										生管理・カウ く学生を育成		呆健∙技術∙用]具類)		
授業形式	講義	į:	Δ	演 ⁻	習: Δ	実習	월:	0	実打	支:	※ 主力	-る方法:○	その他:△		
		知的 運動技能 技能		その他						目標					
学習目標		0			安全に正確に	装着でき	きいる。	ようになる							
子百日標 (到達目標)		0			商材学・カウン	セリンク	ブ学・徫	前生管理•	目の原	感染症に関して:	理解して作業を行	テことができる			
		0								扱いを理解する					
		○ 危険なものを取り扱っていることを認識し周りに配慮することができる													
テキスト・教材 参考図書	公	公益財団法人 日本理容美容教育センター発行 まつ毛エクステンション 授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数				授業	項目•	内容					授業外学修	指示		
					ノション概要・用 ンの現状とサロ			いて			配布したプリン	-に目を通す。			
					<u>ン講座:</u> ツイザ·				テをす		教科書の該当筆 等は調べておく		み、わからない用語		
	3 7	まつ毛エ	クステ	デモス	 ベトレーション						教科書の該当筆	節囲を事前に読る	み、わからない用語		
	4 7	まつ手に	関する	4口部		こついて						節囲を事前に読る	み、わからない用語		
	H	置の基本	-				-					の囲を事前に読む	み、わからない用語		
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	300坐在	, 180	/J /E							等は調べておく	こと			
	6														
授業計画	7														
	8														
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
	(2)宿 (3)作	題・レデ品発表	ポート ま(実	を実 支)を		以上を				↑で評価する。 以上)・C(60g		9点以下)とす	·る。		
評価方法					1	語情	報	知的技	能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合		
11 m / J /A			トテス					0					80%		
			業態								0		10%		
		発	表•作	F品		0	-						10%		
		€/#₩·	+ + +	₩ =	h - 1女=取! ー	ᆂᅭ	m + ≥ + ·	SI V F Z I		z – L					
履修上の注意					かに確認してい、板書など:					っこと。 ミとめるように	すること。				

課目名	j	選折	マブ-	ライ	ダルス	(タイリ)	ストコー	-ス	【セットア	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚					
課目名(英)															
単位数		4 <u>i</u>	単位		時間	間数	120時間中 60時間	Þ	担当者		資生堂美容	室講師陣			
実施年度		202	3年月	隻	実施	時期	前期		担当者実務	経験	トロンに美容師	すとして勤務			
対象学科·学年	j	美容科	2年》	欠	•										
授業概要									ス知識)、ブラーを通して身		について学び	び、婚礼という晴			
授業形態	講	義:		演	習:	実習	: 0	実	技:	※ 主た	:る形態:○	その他:△			
	言語 情報		運動 態技能 意	度 その他					目標	5					
			0		-					表現をすること					
学習目標 (到達目標)			0							スタイルを作ん					
(到连日保/		Δ		_	フライダノ	レについての)知識・マナ·	一を皆	背待しおもてな	しの心を身につ	けることができ	きる。			
テキスト・教材 参考図書		セットアップ道具一式セットアップ用モデルウィッグ													
	回数														
	1	1~3⊐	マ:講	義(ブラ	イダル知識)	、実習(カー ラ	5一巻)、実習	(アイ)	コン巻)						
	2	4~6コ 体験	マ:実	習(和装	デモスト・白	1無垢&日本類	髪かつら・色打	Ţ掛&:	洋髪)、かつら	前回授業内容の	後習				
	3		マ:実	習(和装	スタイル 夜	友会巻&シニヨ	ョン)			前回授業内容の)復習				
	4	10~1	2コマ: 5	実習(和	装スタイル	3パターン)				前回授業内容の)復習				
	5	13~1	5コマ: :	ブライダ	ルエステ(エ	ニステ知識、デ	・モスト、スキン	ンケア))	前回授業内容の)復習				
	6	16~18	8コマ: 5	実習(洋	装デモスト	式&宴スタイ	(ル)			前回授業内容の)復習				
150 Alle = 1	7	19~2	1コマ: 5	実習(洋	装スタイル	3パターン)				前回授業内容の	復習				
授業計画	8	22~2	4コマ : .	メイク(理	⊒論・デモス	ト・メイク実習))			前回授業内容の)復習				
	9	25~2	7コマ : 5	実習(相	モデルで作	品作り)、小テ	トスト			前回授業内容の	復習				
	10	28~30	0コマ: 5	実習(相	モデルで作	品作り・撮影))			前回授業内容の)復習				
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
	(2)1	乍品発	表(3	ミ技)を		6。以上を下			合で評価する 以上)・C(60;	。 点以上) • D(59	点以下)とす	⁻ る。			
評価方法						言語情報	_	支能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
	_		小テ				0					20%			
			発表	作品					©			80%			
履修上の注意	L.	準備物	勿は、	授業前	前に確認し	して忘れ物:	がないよう	にする	ること。 						

課目名	;	選択フ	ブライ	゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙	スタイ!	ノス	トコー	-ス	【メイク	7]					
課目名(英)	N	1 akeup													
単位数		4単位	<u>ታ</u>	時	間数	1	120時間中 30時間	þ	担当者		宮本 知	亜理			
実施年度		2023年	丰度	実施	施時期		前期		担当者実務		彡、ブライダルへ ィョーバックステ-				
対象学科·学年	j	美容科2年	軍次 ブ	ライダル	スタイリス	トコー	-ス			·					
授業概要										ジに沿ったメ クができるよう		5メイクの提案が			
授業形態				寅習:	△ 実	習:	0	実	支: △	※ 主	こる形態:〇	その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	態度意欲その	机上が メイクア 顔の輪 モデル('ップのデ 郭、パー: の個性に	ザイン ソの ⁄s 合わ	ンができ 分析がで せたメイ	る。 きる。 クの!	是案ができる						
テキスト・教材 参考図書		回数													
	回数														
	1	1~3⊐₹	7:洋装	メイク							ダルメイクを見て				
	2	4~6⊐ ऱ	7:和装	メイク							イクを見ておくこ				
	3	7∼9⊐ र	7:白ドレ	ノス〜カク	テルドレス	くに合	わせた	メイク	7		ダルメイクを見て				
	4	10~12=	コマ:作	品制作							ダルメイクを見て	:おくこと 			
	5	13~15=	コマ:実	技テスト						復習をしておく					
	6														
授業計画	7														
I I I	8														
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
	(2) (3)	実技作品 実技テスト	のデザ <i>~</i> トを実施	た実技作。 イン画を確認 する。以上 0点以上)・	認する。 を下記の 額	見点・				59点以下)とす	ర్.				
評価方法					言語情	報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
	_		期試験		1				0			70%			
	_		・レポー	-k					0			15% 15%			
		1日 起	・レハー	17	1				<u> </u>			10%			
履修上の注意	Ŀ	出席が4/!	5に満た	∵ない場合	は実技試	【験σ)受験資	格を-	与えない。		I	1			

課目名	選択っ	ブライダ	ルスタイ	′リストコ	一ス 【	アイリ	スト】								
課目名(英)	eyelash exte	ensions													
単位数	4単位	E	時間数	120時間中 10時間	担	当者		江藤 登	志美						
実施年度	2023年度	美	施時期	前期	担当者	実務経験		美容師として	二勤務						
対象学科·学年	美容科2年	-			•										
授業概要				づいた内容 ⁻ し業界を担っ				℀健∙技術∙用	具類)						
授業形式	講義: △	演習:	△ 実習	≌: ○	実技:		※ 主た	る方法:〇	その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語 知的 運動 態意	安全に 商材学 安全に	・カウンセリンク 装着できるよう	きいるようになる ブ学・衛生管理・ な姿勢・用具類(ていることを認詞	の取り扱いを理	解することか	バできる	ことができる							
テキスト・教材 参考図書	公益財団法	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □													
授業計画	回数	テデモストレーシー	概要・用具につい 犬とサロンワーク ツイザーの持た ション	いて クについて 5方・紙にエクス・	テを並べる	教科 は 教 は 教 調 教 調 教 調 教 調 教 は 教 ま り は 教 は 教 は ま り は ま り は ま り は ま り ま り は ま り ま り よ り ま り よ り ま り ま り ま り よ り ま り も り も り も り も り も り も り も り も り も	したプリント 書の該当範 べておくこと 書べて該当範 べておくこと でなくこと	に目を通す。 囲を事前に読み 囲を事前に読み 囲を事前に読み 囲を事前に読み	指示 、わからない用語等 、わからない用語等 、わからない用語等 、わからない用語等						
評価方法	(1)授業の中で (2)宿題・レポー (3)作品発表(9 成績評価基準 小テ 授業	・トを実施する 実技)を実施する は、S(90点以 ・スト 態度	。 する。以上を	点以上)·B(7	0点以上)·C	(60点以_	上)·D(59 度·意欲	点以下)とす その他	る。 評価割合 80% 10% 10%						
履修上の注意				勿がないよう! こところをノー		ようにする	。 らこと。								

課目名	į	選択	ブラ	1	ダルスタイ!	ノストコ	コース	. 【ボデ	ィジュエリ	J —]					
課目名(英)	На	air mal	ke-up	artis	t course (Body je	welry)									
単位数		4単	位		時間数	8/1	20	担当者		重松鄄					
実施年度		2023	年度		実施時期	前	期	担当者実務			⁷ アッションショー ライダル現場経験				
対象学科•学年	美	容科	2年次	7											
授業概要		ライダ になる		イベン	_い ト、パーティーシ・	一ン、成力	、式等で	華やかな演り	出ができ、デサ	デイン提案~カ	施術迄が出来るよ				
授業形態	講	轰:		演	習: △ 実	習: (実	技: △	※ 主	たる形態:〇	その他∶△				
	言語情報	知的 運		その他				目相	票						
					花・蝶・リボン・ハート	の様々なデ	ザインを	基本に制作する	ことが出来る。						
学習目標)				等のイベン	小に限らず、日常	常・非日常のどの	ようなシーンでも	使用できるボディジュ				
(到達目標)					エリー"テクニックを身 道具の手入れ、片づ		651~野小!糸								
			_		<u> </u>	17 なこ 1貝1型	11C4X 7 //	正のここが田木 る							
テキスト・教材	-15	<u> </u>		<u> </u>	ぜい面										
参考図書															
	回数	ボディジュエリー教材一式(シート、鉛筆、アート筆、ラメパウダー、グル―、アセトン、コットン、ビニール)													
	1 . 2	花のデ 花と蝶 ク(花弁	ジュエ! ザイン を転写 ト制作)	を転 ² 〜グ, ・片(ラメパウダー	ーで仕上	げる。簡単な	道具の手入れ特にブラシにつう		手入れを入念に行				
授業計画	4	ブライタ	ブル用	ボディ	用併用) (ジュエリー ウエデ ※実技テスト	ィングドレジ	スに合わ	せた白を基調	道具の手入れ 特にブラシにつう		手入れを入念に行				
	5														
	6														
	7														
	8														
	9														
	(2) (3) (3)	実技の	中で活	_{を施し} 道具	する。 した実技作品を確 との手入れを確認 90点以上)・A(80点	する。 以									
					言語情	報知	的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
評価方法	:	実技テ						0	0		90%				
		道具	の取	り扱い	,\			0	0		10%				
履修上の注意	欠	席不可	可。欠	席の	場合、0点。	ı		1	ı						

課目名	選	尺ブ ⁻	ライタ	ずルスタイリ	ノスト =	コース【	フラワーア	レンジ&/	ヽッドアク [・]	セサリー】					
課目名(英)	Brida	al cour	rse【flo	wer arrangeme	nt&hea	d accessor	у]								
単位数		4単位	-	時間数		6/120	担当者		重松愛						
実施年度	2	023年	度	実施時期	Я	前期	担当者実務			ァッションショー イダル現場経験					
対象学科·学年	美容	科 24	年次	-			-								
授業概要	結婚	式には	さける		と新婦の	ヘッドアクー	ンような花を使り セサリーを実際 ・学ぶ。		か知る。						
授業形態	講義:		ä	寅習:	実習:	0	実技:	※ 主力	-る形態:○	その他:△					
	言語 知的情報 技能		態度 きの	他	1	<u>'</u>	目	票							
学習目標 (到達目標)		0			新婦のドレ		こ制作することが出		式等のイベント	にも適用するヘッドア					
テキスト・教材 参考図書	ワイ	カのサナフテロ シャップの作品を日イヤノート													
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示													
	1 花0	花の特徴を知り、水揚げのやり方を学ぶ 「の花をフラワーショップの店頭で見ておくこと													
			−ジュの ージュを		ず、綿の巻	き方を学び、	トアスタイルに合っ	新婦のヘアスタ	イルを考えておく	くこと					
	2 5¢		ーケの作		、仕上げの	リボン巻上け	、4ループリボンを	ブーケの本や写 つける	真を見て、自分	の好きなブーケを見					
	4	00001						217.0							
	5														
	6														
	7														
授業計画	8														
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
	(1)準備物 (4)完成原 以上を下	をチェッ 記の観	ックする 点・割合	↑で評価する。 点以上)・A(80点以	L上)・B(70	点以上) • C(6	(3)手順がマスタ 60点以上)・D(59点	以下)とする。	こックする。						
					語情報	知的技能		態度・意欲	その他	評価割合					
評価方法		定其	胡試験	İ .			0	0		100%					
履修上の注意				<u>'</u>		1	ı	1	1	1					

課目名	;	選択	!ブ	ライ	ダルスタイ!	Jストコ-	ース	. 【ジェノ	レネイル]					
課目名(英)	E	Bridal	stylis	st (nail)										
単位数		4 <u>ì</u>	単位		時間数	120時間中 6時間	/	担当者		林 理	沙				
実施年度		202	3年度	ŧ	実施時期	前期		担当者実務網	経験 ネイバ	レサロンにてネイ	(リストとして勤務				
対象学科・学年	į	美容科	·2年												
授業概要	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	はNPO ら。また、	法人日	日本ネイ ンワーク	び、サロンワークに必ず リスト協会がお客様に で必要な時短アートや ハ知識の習得、ケアの	安心して施術を 持ちの良いテク	受けて ニック	頂けるよう健全: を学びトータルビ	なジェルネイルの ューティーで「美	普及を目的に乳 と向き合ってい	『施している試験であ				
授業形式	講	義:		演	習: 実	習: 0	実	技:	※ 主 <i>t</i> :	-る方法∶○	その他:△				
	言語 情報			態度 微欲 その他				目標							
	0	0			ジェルを施す前掛				し、実施でき	る。					
学習目標	0		0		ジェルの特性や		-								
(到達目標) 	_	-	0		お客様のカウン				析ができる						
		0	0		アサイン画を作用	火し、時间内	1~1F#	品を仕上げる							
テキスト・教材 参考図書		○○○ デザイン画を作成し、時間内に作品を仕上げる ・JNAテクニカルシステムベーシック ・JNAテクニカルシステム ジェルネイル編 ・JNAネイティフル													
参 方凶音		・JNAテクニカルシステム ジェルネイル編 ・JNAネイティフル													
		授業項目・内容 授業外学修指示													
	1	用具用	材説	明っする											
	2			- 、凹凸)) ± /V									
	3	プレパ	レーシ	タンの重	重要性 ラメグラデーシ	ョン 縦グラデー	ーション	,							
	4														
	5														
	6														
+평·#는 글 Lines	7														
授業計画	8														
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
					下記の観点・割合 90点以上)・A(80			以上)•C(60;	点以上)•D(59	点以下)とす	⁻ る。				
評価方法					言語情	報 知的	支能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合				
H 1 IMI / J /A		出	席、挖	受業態	度	С)	0	0		100%				
履修上の注意	į į	受業中	の私	語は、	厳禁										

課目名	(GCE	3 II											
課目名(英)	C	LOBA	AL CI	ΓΙΖΕΝ	I basic I I									
単位数		1 <u>i</u>	単位		時間数		16時間	担当者		江藤 登志美	•森 健太			
実施年度		202	3年度		実施時期	Ŋ	前期	担当者実務組	経験 美	容室にて美容	師として勤務			
対象学科・学年	j	美容科	- 2年						·					
授業概要	ع	こしてネ	注会に	送り出	はす。世界は日	自立しな		劦力しながら 」	載り立ってい		て育成し、即戦力と人生に感謝し、			
授業形式	講	義:		演	習:	実習:	実	技:	※ 主	たる方法:〇	その他:△			
	言語 情報		運動 態度技能 意欲					目標	Ę					
		0			考えることの大	切さを知る	る(先人の話や自	分を取り巻く環境	きについての具作	本的な話から、様	々な事を考える。)			
学習目標	0				自分の言葉で伝	える大り		この作業を沢山行	う事でその大り					
(到達目標)		0			目標の大切さ、	 志の大切	 さを知る(目標が	定まらなければ		 事を知る)				
			0				(知行合一、学ん)							
					II 30 F O C SIC	100 01	()4111111111111111111111111111111111111		177016高州77	ボリー・サービス(フィ)				
テキスト・教材 参考図書		GCBテキスト 視覚教材 数 授業項目・内容 授業外学修指示												
	回数	授業項目·内容 授業外学修指示												
		グローバル シティズンと志												
	2				日本の中の私	~			第1講話のレオ	ピート提出				
	3	自己を ~私の	:知る)過去・ヨ	₹.	·来~				第2講話のレオ	『一ト提出				
	4	/= = z +	大学ご		らめる(自分の言葉でE	シムの思い	*********		第3講話のレオ	ピート提出				
	5	伝える	力を学る	ゞ「グ	ループコミュニケ	一ション			第4講話のレオ					
	<u> </u>				寺って言葉のキャ		_	辛油に労ぶ						
	6	子えら	オレバニー	更の人:	生に感謝し、志高	が生さる	。(言葉のカとプロ)	思誠に子ふ)	第5講話のレオ	一个提出				
授業計画	7	自己の	大切さん	上責任を	を自覚する。				第6講話のレオ	ペート提出 スピー	チ練習			
汉本阳日	8	GCB I	[を受講	して、私	ムが感じた事・気~	づいた事	・学んだこと		第7講話のレオ	ペート提出				
					ノポートを提出									
	(2)	最終技	受業の	中で1	人2分間のス	ピーチ	を実施する。							
	(3)	成績言	平価其	進仕	出度 レポー	-ト スト	ニーチを加味し	'R)認定とする						
	(0)	/ X 1 X 1	1 ш —	-10.		<u>- 、 </u>	T	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
評価方法		7=	選・レ	/ ;−∟	-		VHHUUXHE	(土地)人形	心汉 心队	C 07 IE	50%			
			発表・											
			光衣 ╹′	ΙFάĎ					0		50%			
										1				
履修上の注意	#	寺段の	事情を	除い	て、授業は休	まない	でください。授	業中の私語は	は、厳禁です。	復習は必須で	ごす 。			